

平成

海老名駅東口の開発が進み、
 急激に発展した平成時代。
 海老名駅西口のまち開きで、
 大きな飛躍を見せました。

平成30(2018)年 海老名駅東口方面より



海老名駅東口方面より 平成3(1991)年



- 平成23(2011)年 ●えび〜にゃ誕生①
- 海老名市・白石市・登別市がトライアングル交流宣言
- 子ども医療費助成制度中学校3年生まで所得制限なしを導入
- 平成24(2012)年 ●海老名駅と羽田空港を結ぶ空港リムジンバス運行開始
- 柏ふれあい釣り堀運営開始
- 平成25(2013)年 ●えびな市民活動センタービナレッジ開館
- 中野公園開園
- 平成26(2014)年 ●えびな市民活動センタービナスポ開館
- 平成27(2015)年 ●北海道登別市と姉妹都市盟約を締結
- 「扇町」誕生
- 海老名駅自由通路(駅間部・西口部)開通
- 中央図書館リニューアルオープン
- 海老名駅西口地区まち開き
- ららぽーと海老名オープン②
- 平成28(2016)年 ●海老名駅に小田急ロマンスカー停車③
- 人口13万人突破
- 平成29(2017)年 ●「めぐみ町」「泉」誕生
- 平成30(2018)年 ●えびなこどもセンター開所
- えびな安全安心ステーション開所
- 海老名市親善交流大使にKENZO氏を任命、EBINAダンス制作④

全国から応募された647点から、市内小学生の投票で「えび〜にゃ」がイメージキャラクターに選ばれました。



平成23(2011)年



平成27年のまち開きで市の新たな顔となった海老名駅西口地区。商業施設の開業や高層マンションの建設など、海老名駅東西一体のまちづくりが実現しました。

平成27(2015)年



ビナウォーク完成を前に中学生が見学

平成14(2002)年



跨線橋開通を祝した渡り初めパレード

平成3(1991)年



建設中のあゆみ橋の右に見えるのは通称「めぐり橋」。相模川増水時には沈んでしまい、道幅が狭く危険でした。

平成8(1996)年



平成22年に23万3990人分の署名を小田急電鉄(株)に提出。海老名駅に念願の小田急ロマンスカー停車となりました。



KENZO氏を市初の親善交流大使に任命

平成30(2018)年

海老名駅東西のあゆみ 平成編

増築などで駅舎の姿は変わり、東口のロータリーや、大型商業施設と駅をつなぐ自由通路が整備されました。駅東西を結ぶ自由通路も開通し、西口のまち開きへ進んでいきます。

西 駅間 [平成27年]



[平成13年]



東 [平成27年]

- 平成元(1989)年 ●市庁舎・消防庁舎移転
- 平成3(1991)年 ●海老名跨線橋開通①
- 「中央」誕生
- 平成4(1992)年 ●海老名運動公園全面開園
- 海老名中央公園に七重の塔のモニュメント完成
- 平成6(1994)年 ●並木橋取付道路改良工事完成
- 宮城県白石市と姉妹都市盟約を締結
- 平成7(1995)年 ●有馬図書館開館
- 平成8(1996)年 ●あゆみ橋開通②
- 平成9(1997)年 ●かしわ台跨線橋開通
- 平成10(1998)年 ●子育て支援センター開館
- 平成12(2000)年 ●北部公園開園
- 平成13(2001)年 ●海老名警察署開署
- 平成14(2002)年 ●海老名駅自由通路(東口駅広部)開通
- ビナウォークオープン
- 平成15(2003)年 ●海老名駅前交通広場再整備完了、供用開始
- 平成16(2004)年 ●県立相模三川公園開園
- 平成17(2005)年 ●海老名駅自由通路(中央三丁目方面)開通
- 平成18(2006)年 ●第1回えびな市民まつり開催③
- 平成22(2010)年 ●消防署北分署移転
- 圏央道海老名インターチェンジ供用開始
- 海老名駅自由通路(駅舎部)開通
- 北海道登別市からポニー寄贈④



第1回えびな市民まつりのパレード

平成18(2006)年



消防ポンプ車を寄贈したお礼に北海道登別市から2頭のポニーが贈られました。

平成22(2010)年